

# はじめに



## ごあいさつ

この度は、PRIMERGY C150 ラックマウント変換機構（PG-R1CK8）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ラックマウント変換機構は、デスクサイドタイプのサーバをラックに搭載するために、ラックマウントタイプに変換するためのキットです。

本書はラックマウント変換機構の取り扱いの基本的なことからについて説明しています。

本書をご覧になり、ラックマウント変換機構を正しくお使いいただきますよう、お願い致します。

2002 年 5 月

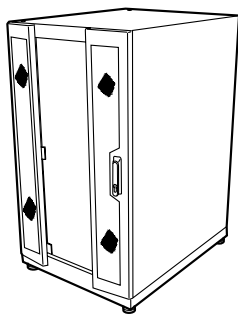
J

## ラックについて

サーバを搭載できるラックには、2つのタイプがあります。以下のラック以外にはサーバを搭載することができませんので、ご注意ください。

- スタンダードラック  
(型名：PG-R3RC1、PG-R3RC2、PG-R4RC1、PG-R4RC2)
- スリムラック  
(型名：GP5-R1RC6、GP5-R1RC7、GP5-R2RC3、GP5-R2RC4)

[スタンダードラック]



[スリムラック]



会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2002

# 安全上のご注意

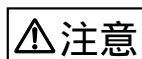


本装置およびそのオプション装置を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。



△ で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容（左図の場合は感電注意）が示されています。



⊘ で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が示されています。



● で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が示されています。

## 取り扱い上のご注意

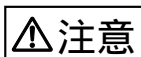


サーバ本体を湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。故障・火災・感電の原因となります。

感 電



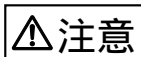
サーバ本体をラックマウントタイプに変換するときは、システムを終了し、サーバ本体および周辺装置の電源を切り、電源ケーブルをサーバ本体から取り外してください。感電したり機器が故障するおそれがあります。



サーバ本体をラックマウントタイプに変換するときは、必ず担当営業員または担当保守員に連絡してください。



- サーバ本体を直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所には設置しないでください。また、10未満の低温になる場所では、運用しないでください。故障の原因となります。
- サーバ本体を塩害地域では使用しないでください。故障の原因となります。
- ラックの開口部（通風孔など）をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- 電源ケーブルおよび各種ケーブル類に足が引っかかる場所には設置しないでください。故障の原因となります。
- サーバ本体をテレビやスピーカの近くなど、強い磁界が発生する場所には設置しないでください。故障の原因となります。



禁止



- 空気の吸排気口である装置前面部および背面部をふさがないでください。  
これらをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- サーバ本体を移動する場合は、必ず電源を切断し、ケーブル類 / マウス / キーボード / AC ケーブルを外してください。オプションの搭載によって、最大 29kg の重量となりますので十分注意してください。



# 本書の表記について



## キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：[Ctrl] キー、[Enter] キー、[ ] キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「+」でつないで表記しています。

例：[Ctrl] + [F3] キー、[Shift] + [ ] キーなど

## コマンド入力

本文中では、コマンド入力を次のように表記しています。

```
diskcopy a: a:
```

の箇所のように文字間隔をあけて表記している部分は、[Space] キー（キーボード手前中央にある何も書かれていない横長のキー）を1回押してください。

また、上記のようなコマンド入力を英小文字で表記していますが、英大文字で入力してもかまいません。

## 本文中の表記

本文中では、以下の表記・記号を使用しています。

ラックマウント変換機構または本製品

PRIMERGY C150 ラックマウント変換機構のことです。

サーバ本体または本サーバ

PRIMERGY C150 のことです。

本書では、本サーバの形態を区別して、以下の名称を用いて説明しています。

- デスクサイドタイプ
- ラックマウントタイプ





# 目 次

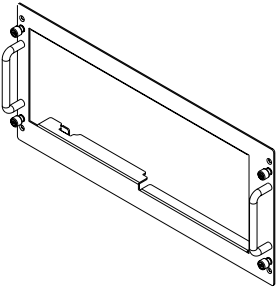
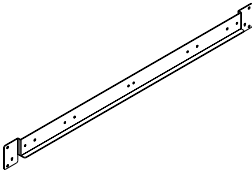
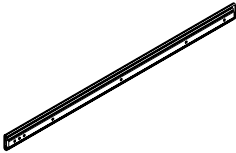
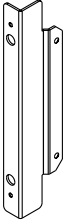
---

本製品の梱包物 .....	1
操作方法 .....	5
1 変換作業前の準備 .....	7
2 ハードディスクカバーの取り外し .....	7
3 ドライブカバーの取り外し .....	9
4 左サイドカバーの取り外し .....	10
5 内蔵ハードディスクの取り外し .....	11
6 フロントカバーの取り外し .....	15
7 右サイドカバーの取り外し .....	16
8 固定足の取り外し .....	17
9 各ドライブとオペレータパネルの入れ替え .....	18
10 フロントカバーブラケットの取り付け .....	21
11 フロントカバーの取り付け .....	21
12 内蔵ハードディスクの取り付け (IDE タイプ) .....	22
13 左サイドカバーの取り付け .....	23
14 ラックフロントカバーの取り付け .....	23
15 サーバ本体のラックへの搭載 .....	24
16 内蔵ハードディスクの取り付け (SCSI タイプ) .....	31
17 電源を入れる前の確認事項 .....	32
18 Chassis ID の更新 .....	33
付録 .....	35
使用環境シート .....	35

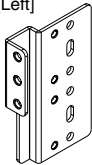
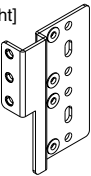
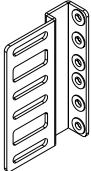

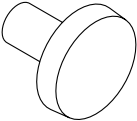
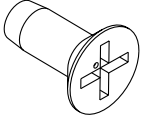
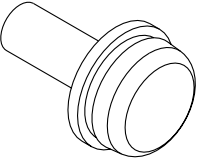


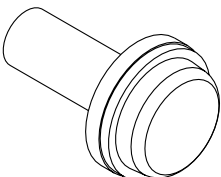
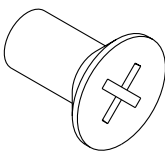
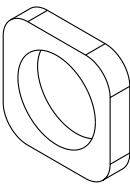
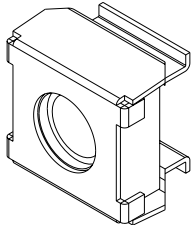
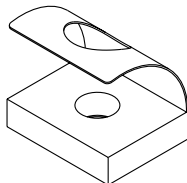
# 本製品の梱包物

ここでは、本製品に同梱されている部品を示します。  
作業を行う前に、以下のリストに従って部品がすべて揃っているかどうかを確認し、万一足りない部品があった場合は担当営業員に連絡してください。

部品	名称	数量	確認
	ラックフロントカバー	1	
	レールブラケット	2	
	スライドレール	2	
	フロントカバーブラケット	2	

J

部品	名称	数量	確認
<div> <div>[Left]</div>  <div>[Right]</div>  </div>	ブラケット A (*1)	左右 各 1	
	ブラケット B (*1)	2	
	ブラケット C (*1)	2	
	M4 バインドネジ	14	
	M4 タップタイトネジ	8	
	M5 ネジ (*1)	8	

部品	名称	数量	確認
	M6 ネジ (*1)	4	
	M6 サラネジ (*1)	4	
	スクリューホルダー (*1)	4	
	M5 ラックナット	4	
	スプリングナット (*2)	4	

\*1) スリムラックへの搭載時のみ使用します。

\*2) スタンダードラックへの搭載時のみ使用します。



# 操作方法

本章では、サーバをデスクサイドタイプからラックマウントタイプに変換する手順について説明します。



感 電

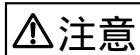


ラックマウントタイプへの変換作業を行う前に、必ずシステムを終了させ、サーバ本体および接続している周辺装置の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。

禁 止



内部のケーブル類や装置を傷つけたり、加工したりしないでください。故障・火災・感電の原因となります。



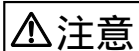
指 示



- サーバをラックマウントタイプに変換するときには、担当営業員または担当保守員に連絡し、変換作業は必ず担当保守員に行わせてください。
- サーバのラックマウントタイプへの変換作業は、安定した場所で行ってください。オプションの搭載によって、最大29kgの重量となりますので十分注意してください。
- サーバのラックマウントタイプへの変換作業は、サーバ本体を横にして作業するのに十分な広さの場所で行ってください。
- サーバをラックマウントタイプに変換する前に必ずシステムを起動し、システムの動作状況を確認してください。
- 電源を切った直後は、サーバの内部の装置が熱くなっています。内蔵オプションの取り付けや取り外しを行う場合は、電源を切ったあと10分ほど待ってから、作業を始めてください。
- 内蔵オプションは、基板や半田付けした部分がむきだしになっています。これらの部分は、人体に発生する静電気によって損傷を受ける場合があります。取り扱う前に、サーバ本体の金属部分に触れて人体の静電気を放電してください。
- 基板表面や半田付けの部分に触れないように、金具の部分や、基板の縁を持つようにしてください。

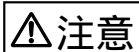
## 操作全体の流れ

- 1 変換作業前の準備を行います。
- 2 ハードディスクカバーを取り外します。
- 3 ドライブカバーを取り外します。
- 4 左側のサイドカバーを取り外します。
- 5 内蔵ハードディスクを取り外します。



必ず内蔵ハードディスクを取り外してください。作業中に内蔵ハードディスクに衝撃が加わると、保存されているデータが損傷することがあります。

- 6 フロントカバーを取り外します。
- 7 右側のサイドカバーを取り外します。
- 8 固定足を取り外します。
- 9 各ドライブとオペレータパネルを入れ替えます。
- 10 フロントカバーブラケットを取り付けます。
- 11 手順 6 で取り外したフロントカバーを再び取り付けます。
- 12 IDE タイプの内蔵ハードディスクを搭載している場合は、手順 5 で取り外した IDE ハードディスクを再び取り付けます。



IDE ハードディスクを取り付けたあとは、サーバ本体に衝撃を与えないように注意して作業を行ってください。作業中に内蔵ハードディスクに衝撃が加わると、保存されているデータが損傷することがあります。

- 13 手順 4 で取り外した左側のサイドカバーを再び取り付けます。
- 14 ラックフロントカバーを取り付けます。
- 15 ラックマウント変換機構をサーバ本体に取り付け、ラックへ搭載します。
- 16 SCSI タイプの内蔵ハードディスクを搭載している場合は、手順 5 で取り外した SCSI ハードディスクを再び取り付けます。
- 17 電源を入れる前の確認を行います。
- 18 Chassis ID を更新します。



## 1 変換作業前の準備

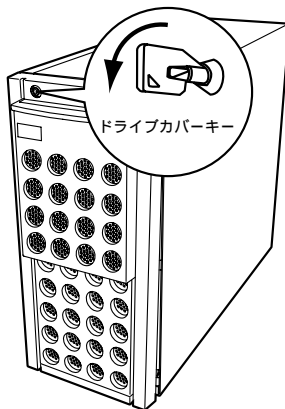
- 1 付録「1 使用環境シート」( 35 ページ ) に、必要事項を記入します。
- 2 サーバのシステムが動作している場合は、システムを終了させます。
- 3 サーバ本体の電源を切り、電源ケーブルをサーバ本体から取り外します。
- 4 周辺機器が接続されている場合は、周辺機器の電源を切り、サーバ本体から取り外します。

## 2 ハードディスクカバーの取り外し

### ⚠ 注意

- カバーや内蔵オプションを取り扱う場合には、サーバ本体の金属部分に触れて人体の静電気を放電してください。
- 基板表面、半田づけ部、およびコネクタ部には触れないように、金具の部分や基板の縁を持つようにしてください。

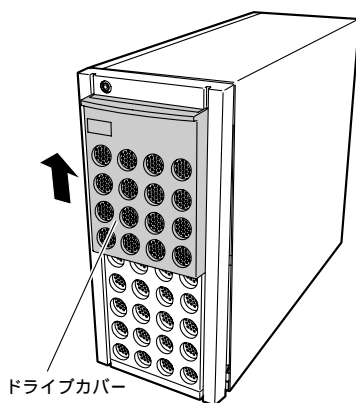
- 1 ドライブカバーキーを左に回し、ロックを解除します。



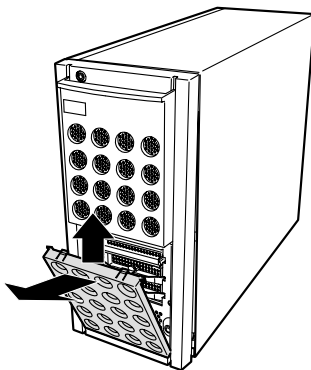
### ⚠ 注意

ドライブカバーキーは装置ごとに異なります。紛失しないように注意してください。  
紛失した場合は、ロック部の破壊が必要であり、部品の有償交換となりますので、ドライブカバーキーの管理については十分ご注意ください。  
なお、万ードライブカバーキーを紛失された場合は、担当営業員までご連絡ください。

- 2 ドライブカバーを上方にスライドします。



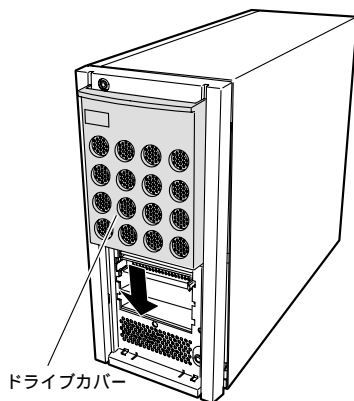
- 3 ハードディスクカバーを取り外します。  
ハードディスクカバーを手前に倒して、引き上げて取り外します。



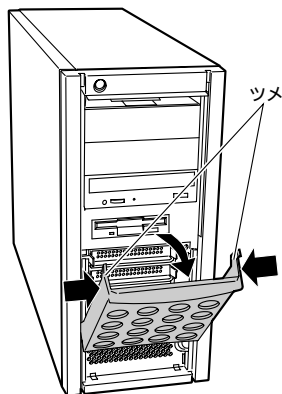
- 4 サーバ本体の金属部分に触れて人体の静電気を放電します。

### 3 ドライブカバーの取り外し

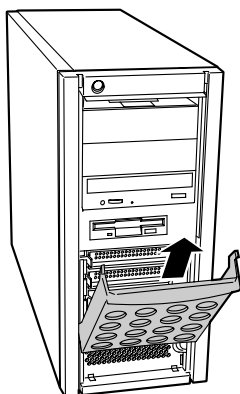
- 1 ドライブカバーを下方に止まるまでスライドします。



- 1 ドライブカバー上部の両側のツメを押しながらドライブカバーを開きます。



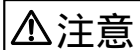
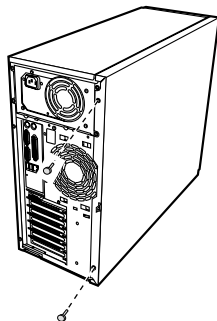
- 2 ドライブカバーを矢印の方向に引いて取り外します。



## 4 左サイドカバーの取り外し

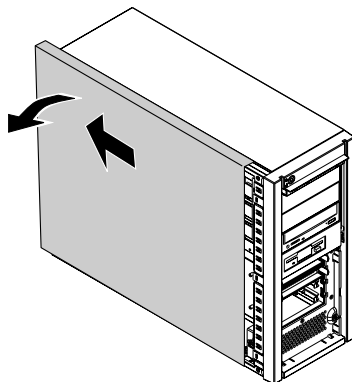
---

- 1 サーバ本体の背面側 2 箇所の M3 ネジを取り外します。



取り外したネジは、左サイドカバーの取り付け時に使用しますので、なくさないように注意してください。

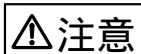
- 2 サイドカバーをゆっくりとサーバ背面にスライドさせ、サーバ本体から取り外します。  
サイドカバーを手前に倒して取り外します。



J

## 5 内蔵ハードディスクの取り外し

内蔵ハードディスクは、ハードディスクカバーを取り外したあとにいったん取り外します。取り外した内蔵ハードディスクは、IDE タイプはフロントカバーを取り付けたあと、SCSI タイプはサーバ本体をラックに搭載したあと、再度取り付けます。ここでは、内蔵ハードディスクの取り外しの手順について説明します。



指示



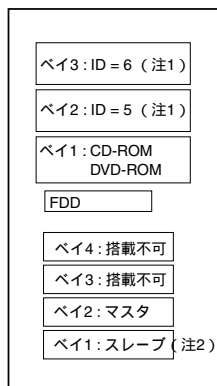
サーバ本体を移動する前に、必ず内蔵ハードディスクを取り外してください。内蔵ハードディスクに衝撃が加わると、保存されているデータが損傷することがあります。

## 内蔵ハードディスクの搭載位置についての注意

サーバをデスクサイドタイプからラックマウントタイプに変換すると、ベイの向きが変わります。

内蔵ハードディスクは取り外す前にベイ番号を記録しておき、ラックマウントタイプに変換後は必ず取り外し前と同じ位置に搭載してください。

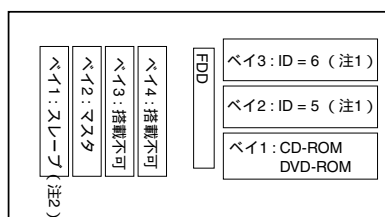
### IDEタイプハードディスクの場合



[デスクサイドタイプ時正面図]

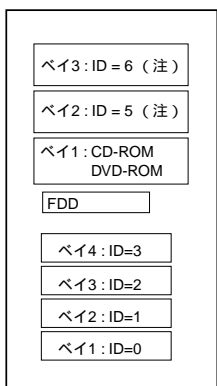
注1) 内蔵光磁気ディスク搭載時は、SCSI-IDを「4」に設定します。  
内蔵光磁気ディスク2台搭載時は、ベイ2のSCSI-IDを「4」、ベイ3のSCSI-IDを「6」に設定します。

注2) IDEアレイタイプの場合は、ベイ1、ベイ2ともにマスタに設定します。



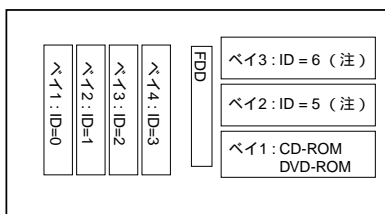
[ラックマウントタイプ時正面図]

### SCSIタイプハードディスクの場合



[デスクサイドタイプ時正面図]

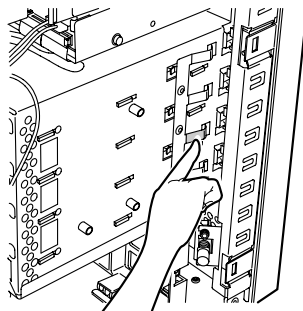
注) 内蔵光磁気ディスク搭載時は、SCSI-IDを「4」に設定します。  
内蔵光磁気ディスク2台搭載時は、ベイ2のSCSI-IDを「4」、ベイ3のSCSI-IDを「6」に設定します。



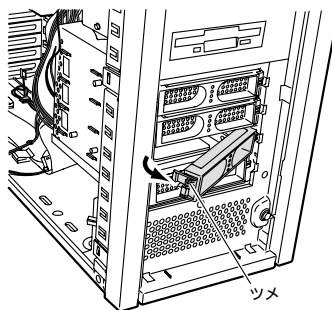
[ラックマウントタイプ時正面図]

## 取り外し手順 (IDE タイプ)

- 1 内蔵ハードディスクから内部ケーブルと電源ケーブルを取り外します。
- 2 ベイ左側ある金具を押します。  
金具からベイカバーのツメがはずれます。

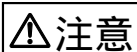
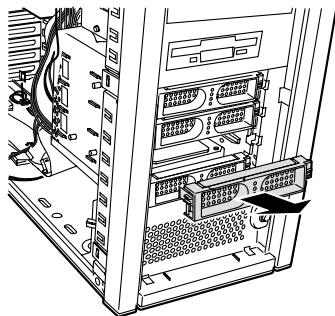


- 3 ベイカバーの左側にあるツメを押しながら手前に引きます。



J

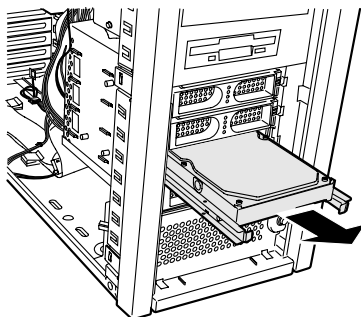
- 4 ベイカバーを完全に取り外します。



取り外したベイカバーは、内蔵ハードディスクの取り付け時に使用しますので、なくさないようにご注意ください。

- 5 内蔵ハードディスクをサーバ本体から取り外します。

内蔵ハードディスクを矢印の方向に引き出して、取り外します。

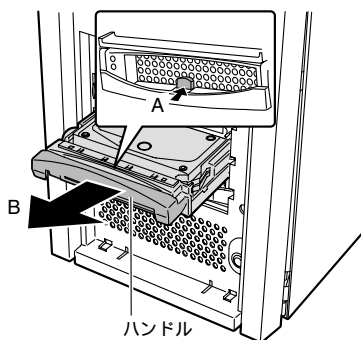




## 取り外し手順 (SCSI タイプ)

### 1 内蔵ハードディスクを取り外します。

取り外したい内蔵ハードディスク  
前面のタブを押しながら (A) ハ  
ンドルを上側に開け、手前に引き  
ます (B)。そのとき、内蔵ハード  
ディスクに手を添え、両手で持つ  
て引き出してください。



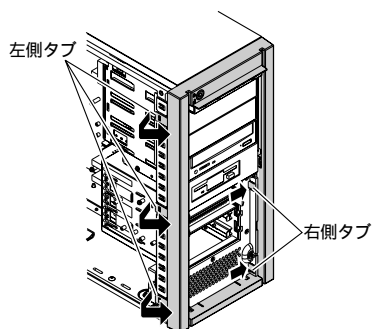
J

## 6 フロントカバーの取り外し

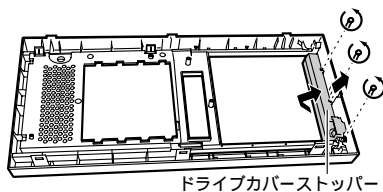
### 1 フロントカバーを取り外します。

フロントカバーは、タブでサーバ  
本体と固定されています。

サーバ本体左側の3箇所のタブを  
外してから右側のタブを押しま  
す。フロントカバーを取り外  
します。



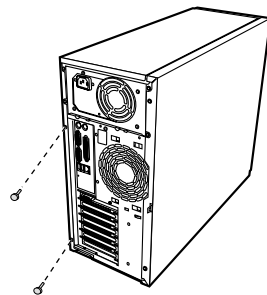
### 2 フロントカバー裏側から M3 ネジ3本を外し、ドライブカバーストップ パーを取り外します。



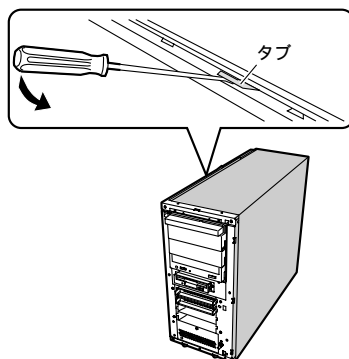
## 7 右サイドカバーの取り外し

---

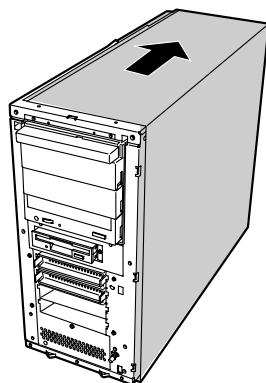
- 1 サーバ本体の背面側 2 箇所の M3 ネジを取り外します。



- 2 右サイドカバーのツメの下にドライバーを差し込んで持ち上げ、タブから外します。



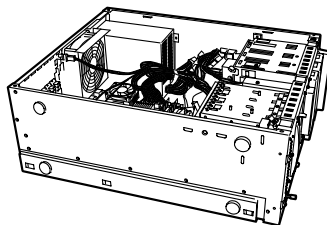
- 3 右サイドカバーを後方に引いて取り外します。



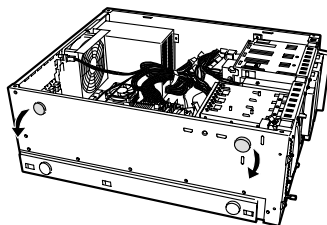
J

## 8 固定足の取り外し

- 1 サーバ本体を図のように横にします。

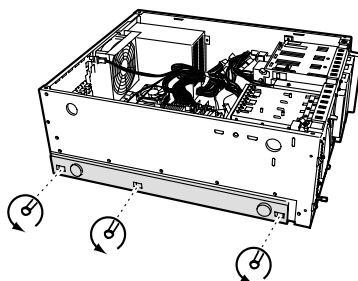


- 2 サーバ本体底面の上部の固定足を取り外します。  
2つの固定足をはがすようにして取り外します。

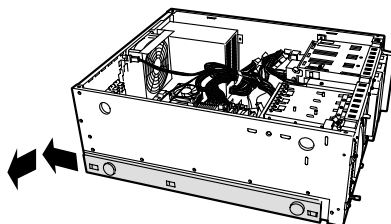


3 下部の固定足のネジを取り外します。

固定足が取り付けられているプレート  
の左右各3箇所の M4 ネジ  
を外します。

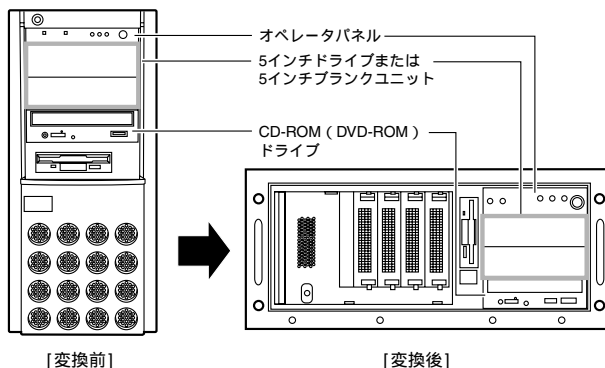


4 プレートを背面側にスライドさせ、手前に引いて取り外します。

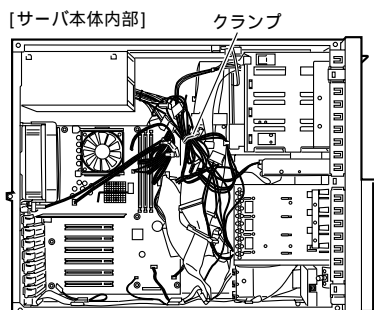


## 9 各ドライブとオペレータパネルの入れ替え

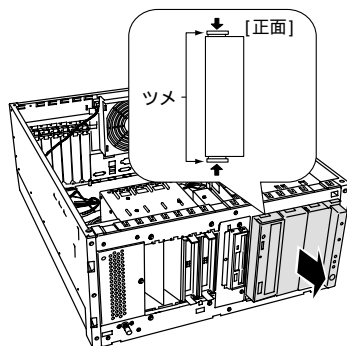
ここでは、CD-ROM (DVD-ROM) ドライブ、5 インチドライブ、およびオペレータパネルの入れ替えの手順について説明します。  
ラックマウントタイプに変換するときは、5 インチストレージベイに搭載されているユニットとオペレータパネルを、向きを変えて入れ替えます。



- 1 CD-ROM ドライブと 5 インチドライブから内部ケーブルおよび電源ケーブルを取り外します。
- 2 クランプから、オペレータパネルのケーブルのみを取り外します。



- 3 オペレータパネル、5 インチドライブまたは 5 インチブランクユニット、および CD-ROM ドライブを 5 インチストレージベイから取り外します。  
上下のツメを内側に押しながら、ゆっくりと手前に引き出します。

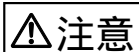
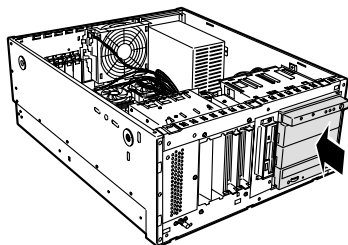


#### ポイント

システム構成により、5 インチブランクユニットは搭載されていない場合があります。

- 4 オペレータパネル、5 インチドライブまたは5 インチブランクユニット、および CD-ROM ドライブを 90 度回転させて 5 インチストレージベイに取り付けます。

上から順にオペレータパネル、5 インチドライブまたはブランクユニット、CD-ROM ドライブをベイに差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



**注意**

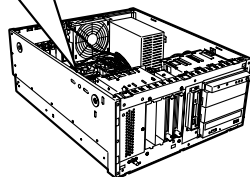
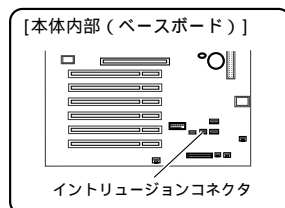
各ドライブや 5 インチブランクユニットを取り付けるときは、ケーブル類をサーバ本体の部品にはさみ込まないように注意してください。



**ポイント**

システム構成により、5 インチブランクユニットは搭載されていない場合があります。

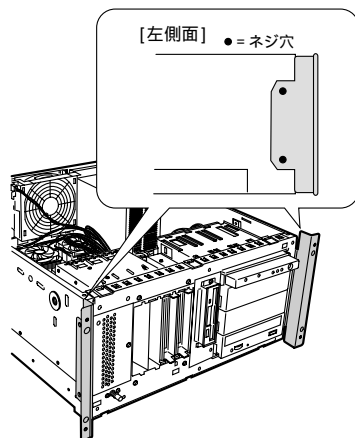
- 5 イントリュージョンケーブルをコネクタから取り外します。



- 6 CD-ROM ドライブと 5 インチドライブに、内部ケーブルおよび電源ケーブルを接続します。
- 7 手順 2 で取り外したオペレータパネルのケーブルをクランプに戻して留め付けます。

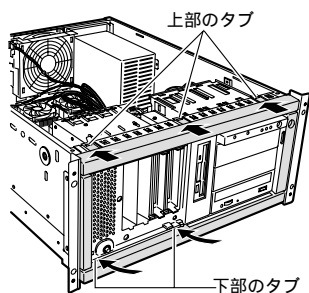
## 10 フロントカバーブラケットの取り付け

- 1 フロントカバーブラケットを、サーバ本体の両側に取り付けます。  
左右のブラケットは、各 2 箇所ずつ  
本製品に添付の M4 タップタイトネ  
ジで固定します。



## 11 フロントカバーの取り付け

- 1 「6 フロントカバーの取り外し」( 15 ページ ) で取り外したフロント  
カバーを取り付けます。  
サーバ本体下部にフロントカバーの 2  
箇所のタブをはめ込んでから、上部 3  
箇所のタブをはめて取り付けます。



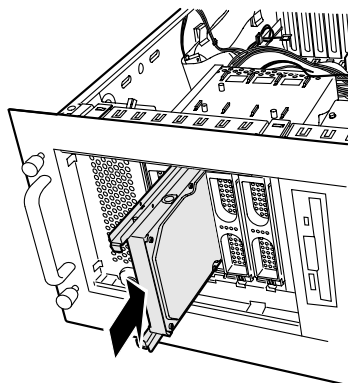
## 12 内蔵ハードディスクの取り付け (IDE タイプ)

### ⚠ 注意

- 内蔵ハードディスクは、取り外したときに記録した位置と必ず同じ位置に内蔵ハードディスクを取り付けてください (「内蔵ハードディスクの搭載位置についての注意」(12 ページ) 参照)。
- 取り付け位置が違うと正しく動作しないおそれがあります。
- IDE ハードディスクを取り付けたあとは、サーバ本体に衝撃を与えないように注意して作業を行ってください。作業中に内蔵ハードディスクに衝撃が加わると、保存されているデータが損傷することがあります。

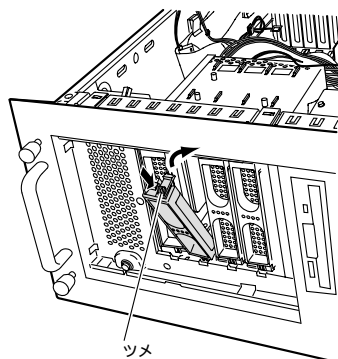
### 1 内蔵ハードディスクをサーバ本体に差し込みます。

内蔵ハードディスクを矢印の方向に差し込みます。



### 2 ベイカバーを取り付けます。

ベイカバーの右側のツメをサーバ本体のくぼみにはめてから、左側のツメを押しながらベイカバーの左側をはめ込みます。

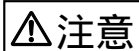


### 3 内蔵ハードディスクに内部ケーブルと電源ケーブルを接続します。



## 13 左サイドカバーの取り付け

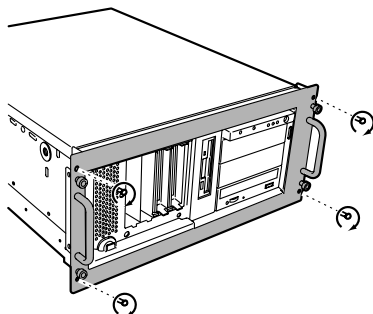
左サイドカバーは、「4 左サイドカバーの取り外し」( 10 ページ)と逆の手順で取り付けてください。



左サイドカバーを取り付けるときに、サーバ本体内部に不要な部品や工具を置き忘れたままにしないようにご注意ください。

## 14 ラックフロントカバーの取り付け

- 1 ラックフロントカバーを取り付けます。  
両側のフロントカバーブラケットに、本製品に添付の M4 タップタイトネジ 4 本で固定します。



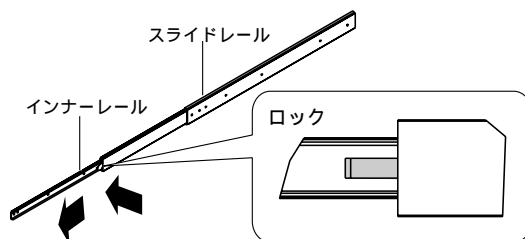
J

## 15 サーバ本体のラックへの搭載

ここでは、インナーレールの取り付けからラックへの搭載までの手順について説明します。レールの取り付け手順は、使用するラックのタイプによって違います。

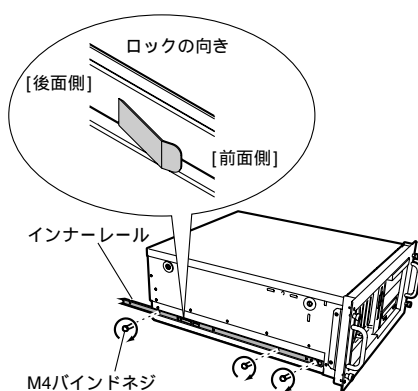
### インナーレールの取り付け

- 1 インナーレールを、ロックを押しながらスライドレールから引き出して取り外します。



- 2 インナーレールをサーバ本体の左右に取り付け、本製品に添付の M4 バインドネジで左右各 3 箇所を固定します。

左右ともに、インナーレールのロックの開いた部分が前面側に来るように取り付けます。

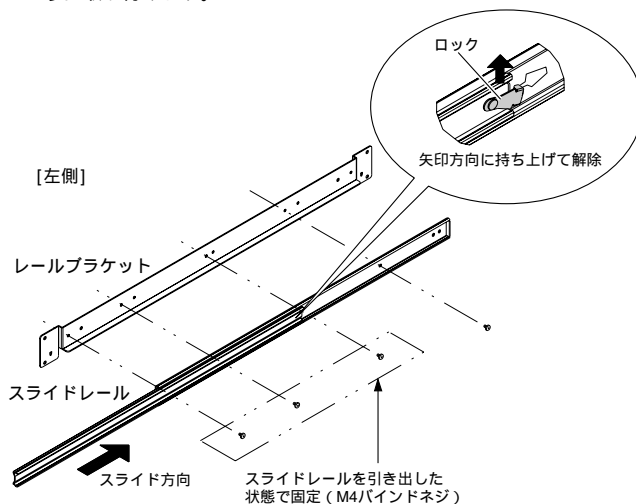


### 3 スライドレールをレールブラケットに取り付けます。

各スライドレールは、本製品に添付の M4 バインドネジ 4 本でレールブラケットに固定します。

ネジ止めをするときは、スライドレールを図のようにスライドさせながら行います。スライドさせるときは、スライドレールのロックを少し引き上げて解除します。

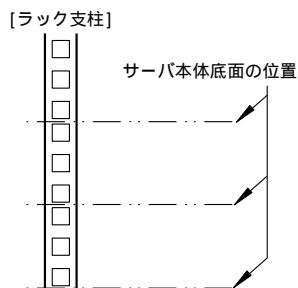
右側のスライドレールは、図のレールブラケットの向きに対して前後が逆になるように取り付けます。



### サーバ本体の取り付け位置の選択

- 1 ラックのフロントドアとリアドアを開けます。
- 2 サーバ本体を取り付ける位置を決めます。

任意の、ラック支柱の穴の間隔が狭い位置にサーバ底面が来るように合わせます。

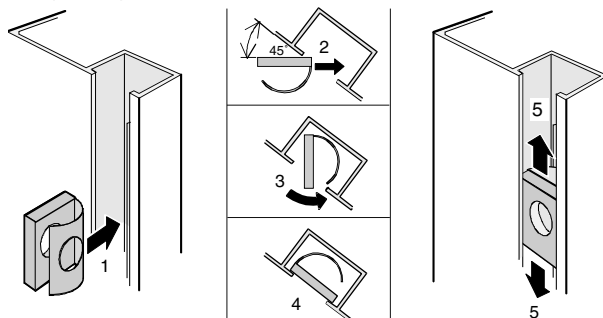


## レールの取り付け手順（スタンダードラック使用時）

### 1 スプリングナットをラックに取り付けます。

本製品に添付のスプリングナット（各支柱 2 個ずつ）をラックの溝に図のように取り付けます（図中 1～4）。

取り付けたあと、レールを取り付ける位置までスプリングナットをスライドさせます（図中 5）。



### 2 レールとラックナットをラックに取り付けます。

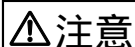
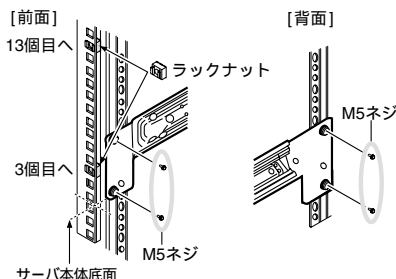
本サーバは 5U 使用します。

#### 1 左右のレールをラックに取り付けます。

レールの前後の外側にある 4 つの小突起をラック支柱の穴に引っ掛け、手順 1 で取り付けしたスプリングナットと本製品に添付の M5 ネジ 各 4 本で取り付けます。

#### 2 本製品に添付の M5 ラックナットを取り付けます。

サーバ本体を取り付ける位置の下から 3 個目と 13 個目の位置に、ラックレールの内側からツメを引っ掛けて取り付けます。



ラックナットは、ラックに添付のものではなく、本製品に添付のものをご使用ください。

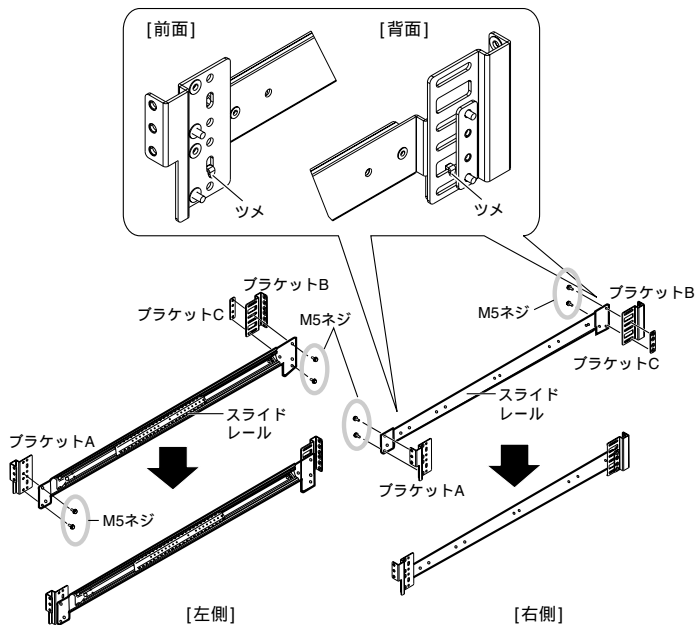
## レールの取り付け手順（スリムラック使用時）

### 1 レールを組み立てます。

スライドレールにブラケット（A、B、C）を、本製品に添付の M5 ネジ前後各 2 本で取り付けます。

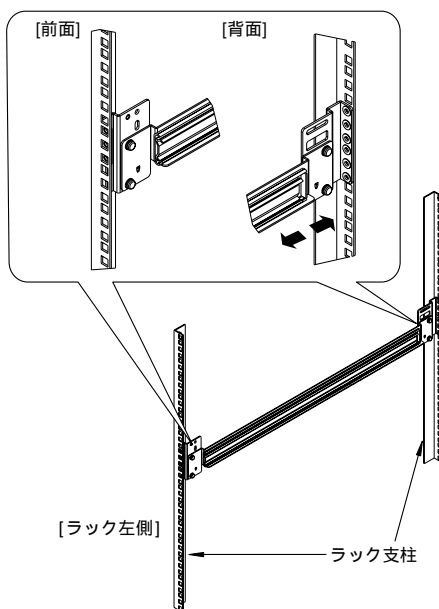
ブラケット A、B は、スライドレールの内側のツメをブラケットの穴に引っ掛けてからネジをしめます。

背面側のブラケットは、ネジを軽くしめておきます。



## 2 レールブラケットの長さを左右ともにラックの幅に合わせます。

背面側のブラケットをスライドさせて、レールブラケットをラックの幅にあわせ、手順1で軽くしめておいた背面側のブラケットのネジをしめて固定します。



## 3 レールとラックナットをラックに取り付けます。

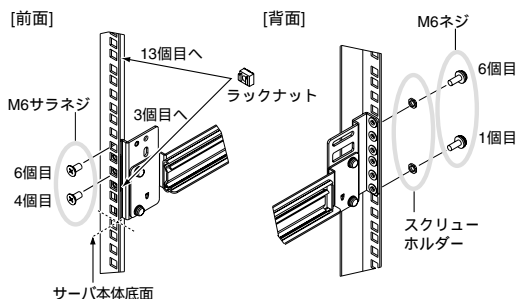
本サーバは 5U 使用します。

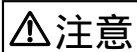
### 1 レールを取り付けます。

レールはサーバ本体を取り付ける位置の下から、前面は 4 個目と 6 個目の位置に本製品に添付の M6 サラネジのみで取り付けます。背面はスクリューホルダーとともに M6 ネジで取り付けます (M6 ネジ、スクリューホルダーは本製品に添付)。

### 2 本製品に添付の M5 ラックナットを取り付けます。

サーバ本体を取り付ける位置の下から 3 個目と 13 個目の位置に、ラックレールの内側からツメを引っ掛けて取り付けます。

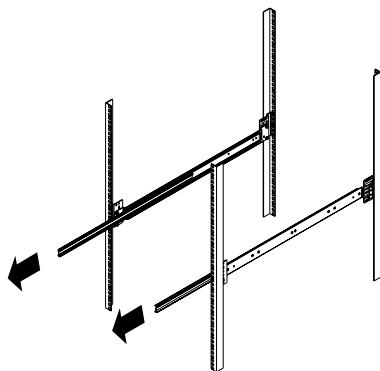




ラックナットは、ラックに添付のものではなく、本製品に添付のものをご使用ください。

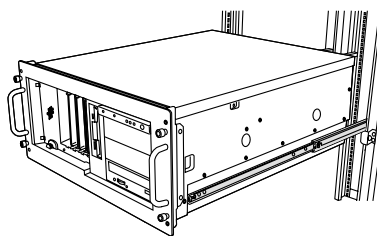
## ラックへの搭載

- 1 スライドレールを、カチッと音がするまで伸ばします。



- 2 サーバ本体をスライドレールに取り付けます。

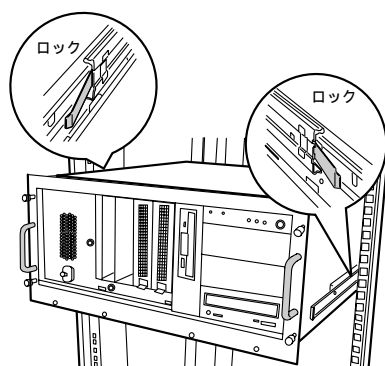
スライドレールの溝に、サーバ本体に取り付けたインナーレールの溝を合わせて差し込みます。



J

3 サーバ本体を後方にスライドさせ、ラックに搭載します。

サーバ本体左右のレールのツメを押して、ロックを解除してから後方にスライドします。

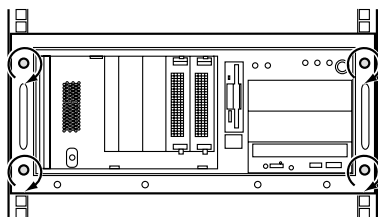


**⚠ 注意**

サーバ本体をスライドさせる場合やロックを解除する場合は、指や衣服が挟まれないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

4 サーバ本体とラックを固定します。

サーバ本体とラックを4本のつまみネジで固定します。





## 16 内蔵ハードディスクの取り付け (SCSI タイプ)

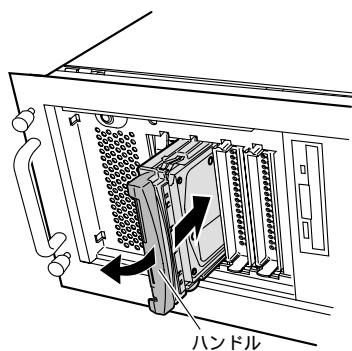
### ⚠ 注意

内蔵ハードディスクは、取り外したときに記録した位置と必ず同じ位置に内蔵ハードディスクを取り付けてください(「内蔵ハードディスクの搭載位置についての注意」( 12 ページ) 参照)。  
取り付け位置が違うと正しく動作しないおそれがあります。

#### 1 内蔵ハードディスクをサーバ本体に取り付けます。

内蔵ハードディスクのハンドルが上げられた状態で、内蔵ハードディスクベ이에差し込みます。

内蔵ハードディスクのハンドルを下げて、確実に差し込みます。



J

## 17 電源を入れる前の確認事項

サーバに電源を入れる前に、必ず次のことを確認してください。

### 内蔵ハードディスクについて

確認事項	確認
3.5 インチストレージベイの奥まで完全に差し込まれていますか？	
すべての内蔵ハードディスクが取り付けられていますか？	

### ケーブルについて

確認事項	確認
指示どおりに接続されていますか？	
各ドライブのコネクタに完全に差し込まれていますか？	
すべてのケーブルが取り付けられていますか？	
取り外すように指示してあるケーブルは取り外しましたか？	
「1 変換作業前の準備」でサーバ本体から取り外した電源ケーブルは接続しましたか？	

### 拡張カードについて

確認事項	確認
拡張カードがスロットの奥まで完全に差し込まれていますか？ 変換作業時の衝撃でカードの差し込みがゆるむ場合があります。	

### 周辺機器について

確認事項	確認
「1 変換作業前の準備」で取り外した周辺機器は、元どおりに正しく接続しましたか？	

サーバ本体をラックに搭載したあと、ServerView の画面表示をラックマウントタイプの表示に更新するために、以下の作業を行います。



ServerStart CD やハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスクを入れてシステムを起動する前に、ServerView の「OS ブート監視」機能が無効に設定されていることを確認してください（初期設定は無効です）。  
「OS ブート監視」機能を有効にしたままシステムを起動すると、本サーバが自動的に電源切断や再起動するなど、意図しない動作をするおそれがあります。  
「OS ブート監視」機能を有効にして運用している場合は、運用を再開する前に、再度本機能を有効にしてください。ServerView の詳細については、ServerView の CD-ROM 内の「ServerView ユーザーズガイド」を参照してください。

- 1 フロッピーディスクドライブおよび CD-ROM ドライブなどに媒体が挿入されていないことを確認します。
- 2 ディスプレイや周辺装置の電源スイッチを押します。
- 3 サーバ本体に添付の「ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスク」ディスクをセットし、サーバを起動します。



### ポイント

「ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスク」は、ServerStart CD から作成しておく必要があります。  
作成方法については、「PRIMERGY C150 取扱説明書」を参照してください。

- 4 Menu より、「Server Management Tool」を選択し、[Enter] キーを押します。  
DOS プロンプトが表示されたら、フロッピーディスクを取り出します。
- 5 サーバ本体に添付の「Server Management Tools」ディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、次のコマンドを入力します。

```
A:\>WRTID.BAT C150R.ini [Enter]
```

正常に行なわれると、以下のように表示されます。

```
Normal END
```

- 6 サーバ本体の電源を切ります。



## ポイント

サーバをデスクサイドタイプに戻した場合には、以下の作業を行なってください。

- 1 フロッピーディスクドライブおよび CD-ROM ドライブなどに媒体が挿入されていないことを確認します。
- 2 ディスプレイや周辺装置の電源スイッチを押します。
- 3 サーバ本体に添付の「ハードウェア構成ツール起動用フロッピーディスク」ディスクをセットし、サーバを起動します。
- 4 Menu より、「Server Management Tool」を選択し、[Enter] キーを押します。  
DOS プロンプトが表示されたら、フロッピーディスクを取り出します。
- 5 サーバ本体に添付の「Server Management Tools」ディスクをフロッピーディスクドライブにセットし、次のコマンドを入力します。

```
A:\>WRTID.BAT C150F.ini [Enter]
```

正常に行なわれると、以下のように表示されます。

```
Normal END
```

- 6 サーバ本体の電源を切ります。

# 付録

## 1 使用環境シート

ここには、サーバ本体の仕様、ラック型名およびラックマウント変換機構型名を記録します。

この使用環境シートは担当営業員または担当保守員への連絡時に必要となりますので、なくさないようにご注意ください。

サーバ	モデル名	PRIMERGY C150
	型名	<input type="checkbox"/> GP _____ <input type="checkbox"/> PG _____
	シリアル番号	
	Product Key <sup>*</sup>	— — —
ラック型名		
ラックマウント変換機構型名		PG-R1CK8

<sup>\*</sup>)サーバ本体の左右どちらかの側面にProduct Keyラベルが貼付されている場合にのみ記載してください。





# Introduction



Fujitsu would like to thank you for purchasing the PRIMERGY C150 Rack Conversion Kit (PG-R1CK8).

This rack conversion kit enables you to convert your server from a desktide model to a rack-mount model.

This manual explains how to use the PRIMERGY C150 Rack Conversion Kit.

Please read the information outlined in this manual when using the PRIMERGY C150 Rack Conversion Kit.

May, 2002

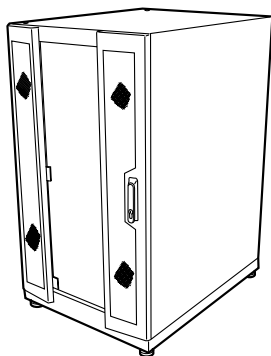
*E*

## ***Rack cabinet types***

This kit only supports the following rack cabinets. Do not attempt to install this kit in any other rack type.

- Standard-type rack cabinet  
(PG-R3RC1, PG-R3RC2, PG-R4RC1, PG-R4RC2)
- Slim-type rack cabinet  
(GP5-R1RC6, GP5-R1RC7, GP5-R2RC3, GP5-R2RC4)

[Standard-type rack cabinet]



[Slim-type rack cabinet]



All hardware and software names used are trademarks of their respective manufactures.  
All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2002



# Safety



For your safety and that of others, follow the guidelines provided on the following pages concerning the use of the rack conversion kit and server.

Symbols are used throughout this manual. These are provided to emphasize important points for your safety and that of others. The following are the symbols and their meanings:



Ignoring the instructions under this symbol when using the server could be hazardous as well as lethal.



Ignoring the instructions under this symbol when using the server may lead to injuries as well as damage the server or hardware options.

**E**

The following symbols are used to indicate the type of warning or cautions being described.

Electric Shock



△ The triangle mark emphasizes the urgency of the WARNING and CAUTION contents. Inside the triangle and above it are details concerning its symbol (e.g. Electric Shock).

Dismantlement



⊘ This mark warns against certain actions (Do Not). Inside the circle and above it are actions which should be avoided (e.g. Disassemble).

Unplug



● The black circle indicates actions that must be taken. The actions are inside the black circle and above it (e.g. Unplug).



Do not



Do not place this system in a humid, dusty, oily, or smoky area. Do not place this system in an area with poor ventilation nor in an area close to fire or other sources of heat.

Electric Shock



When installing or removing the server from the rack, turn off the server, all peripheral devices, the display, and any other connected devices. Also unplug all power cords. Failure to do so can lead to electric shock.



Directions



Contact your maintenance engineer to install or remove a server from the rack cabinet.

Do not



- Do not expose this device to direct sunlight or place near heating appliances. Do not use the server in an area where the temperature drops below 10°C, as this could damage the server. Do not string the connecting cables in a way that they become trip hazards. This could damage the server and cause injury.
- Do not use the server in a salty environment.
- Do not obstruct the ventilation slots. This could cause overheating and shorten the life of the equipment.
- Do not string the connecting cables in a way that they become trip hazards. This could both damage the server and cause injury.
- Do not place the server in areas where strong magnetic fields are generated, such as near TVs and speakers, as this could damage the server.
- Leave a space of at least 20cm between the back of the device and the wall. Poor ventilation traps the heat which can lead to fire.
- Move the unit with care. Shut down all power sources and disconnect all cables and peripherals (e.g. mouse, keyboard, etc.). Also be aware that depending on the hardware options installed, this rackmounted unit can weight up to 29kg.

# Additional information



## ***Key descriptions / operations***

Keys are represented throughout this manual in the following manner:

E.g.: [Ctrl] key, [Enter] key, [→] key, etc.

The following indicates the pressing of several keys at once:

E.g.: [Ctrl] + [F3] key, [Shift] + [↑] key, etc.

## ***Entering commands***

Command entries are displayed in the following way:

```
diskcopy a: a:
           ↑  ↑
```

The "↑" indicates to press the [Space] key once.

The commands are not case sensitive.

## ***Expressions and abbreviations***

The following are expressions and abbreviations used throughout this manual:

**Rack Conversion Kit / this product**

Refers to PRIMERGY C150 Rack Conversion Kit.

**the server / this server**

Refers to PRIMERGY C150.

This server is available in the following models:

- Deskside model
- Rackmount model



**point**

Points out important information for operating this device.



Indicates references found in this manual.



# CONTENTS

---

Ensuring the package .....	1
----------------------------	---

Conversion procedure .....	5
----------------------------	---

1 Pre-work preparations.....	7
2 Removing the hard disk cover .....	7
3 Removing the drive cover.....	9
4 Removing the left side cover .....	10
5 Removing the hard disk units .....	11
6 Removing the front cover .....	14
7 Removing the right side cover .....	15
8 Remove the rubber feet.....	16
9 Repositioning the devices.....	18
10 Attaching the front cover brackets.....	20
11 Reattaching the front cover.....	21
12 Reinstalling the IDE hard disk units.....	21
13 Reattaching the left side cover.....	22
14 Attaching the rack front cover .....	23
15 Converting to a rackmount model .....	23
16 Reinstalling the SCSI hard disk units .....	31
17 Before turning on the server .....	32
18 Updating the Chassis ID .....	33

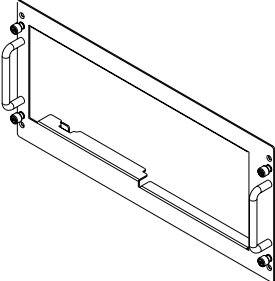
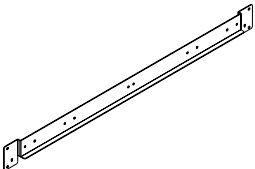
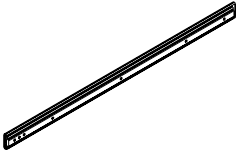
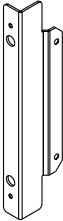
Appendix.....	35
---------------	----

A.1 Product information sheet.....	35
------------------------------------	----

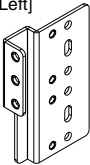
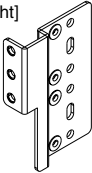
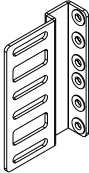

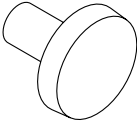
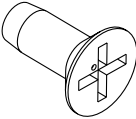
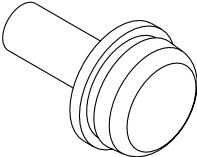


# Ensuring the package

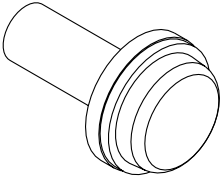
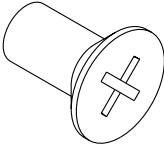
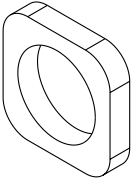
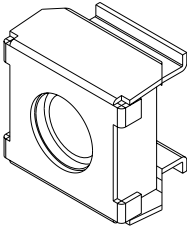
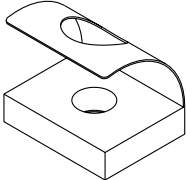
Ensure that all of the following items are included in the rack conversion kit. If any items are missing, inform your Fujitsu sales representative:

Item	Name	Qty	Check
	Rack front cover	1	
	Rail bracket	2	
	Rack rail	2	
	Front cover bracket	2	

E

Item	Name	Qty	Check
<div> <div>[Left]</div>  <div>[Right]</div>  </div>	Bracket A (*1)	1 pair	
	Bracket B (*1)	2	
	Bracket C (*1)	2	
	M4 binding head screw	14	
	M4 tap tight screw	8	
	M5 screw (*1)	8	



Item	Name	Qty	Check
	M6 screw (*1)	4	
	M6 flathead screw (*1)	4	
	Washer (*1)	4	
	M5 rack nut	4	
	Spring nut (*2)	4	

\*1) Only necessary for a slim-type rack cabinet.

\*2) Only necessary for a standard-type rack cabinet.



# Conversion procedure

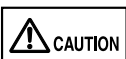
The following is the procedure to convert the server from a desktide model to a rackmount model.



Electric Shock



When installing or removing hardware options from the server, turn off the server, all peripheral devices, the server monitor module, and any other connected devices. Also unplug all power cords. Failure to do so can lead to electric shock.



Directions



- Contact your maintenance engineer to perform the conversion.
- For safety reasons, make sure the server is located on a stable and level surface when performing the conversion work as the combined weight can be 29kg.
- Also, work in an open space as the rackmount must be laid horizontally to perform the conversion.
- Make sure that the system is operating properly before performing the conversion.
- Devices inside the server remain hot after shutdown. Wait for approximately 10 minutes after shutdown before installing or removing hardware options from the server.
- Static electricity can damage the internal hardware components. Before handling the covers or any internal devices, first touch the metal chassis to discharge static electricity.
- Do not touch any panel circuitry. Hold the metallic areas or the green areas of the circuit boards.

E

## Workflow

Perform the work in the order listed below:

- 1 Pre-work preparations.
- 2 Remove the hard disk cover.
- 3 Remove the drive cover.
- 4 Remove the left side cover.
- 5 Remove the hard disk units.



Directions



Before moving the server, remove all hard disk units. Striking or hitting a hard disk unit can corrupt its data.

- 6 Remove the front cover.
- 7 Remove the right side cover.
- 8 Remove the rubber feet.
- 9 Reorient the devices.
- 10 Attach the front cover brackets.
- 11 Reattach the front cover.
- 12 When using IDE hard disk units, reinstall the hard disk units removed from step 5 (above).



Directions



After reinstalling the IDE hard disk units, be careful not to strike or hit the hard disk units, as this may corrupt the data.

- 13 Reattach the left side cover.
- 14 Attach the rack front cover.
- 15 Converting to a rackmount.
- 16 When using the SCSI hard disk units, reinstall the hard disk units removed from step 5 (above).
- 17 Before turning on the server.
- 18 Update the Chassis ID.

## 1 Pre-work preparations

---

- 1 Complete the product information sheet in Appendix A.
- 2 Shutdown the server system if its running.
- 3 Turn off the server's power, display and any attached peripherals.
- 4 Disconnect all peripherals and unplug all device power cords.

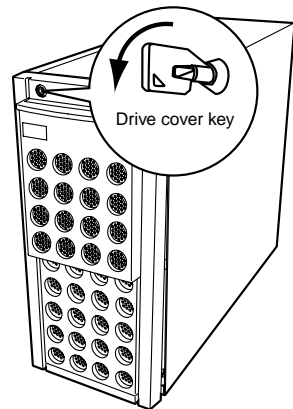
## 2 Removing the hard disk cover

---



- Before handling the covers or any internal devices, first touch the metal chassis to discharge static electricity.
- Do not touch the surface of the circuit boards, especially the connector and soldered areas. Hold a circuit board by its edges or the metal plate.

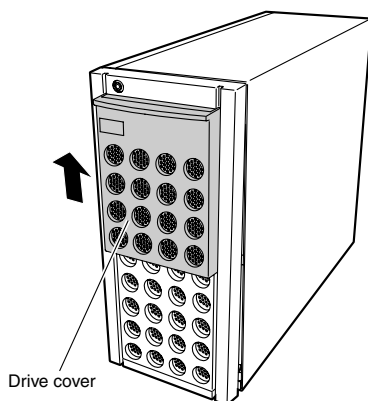
- 1 Turn the drive cover key counterclockwise to unlock the server.



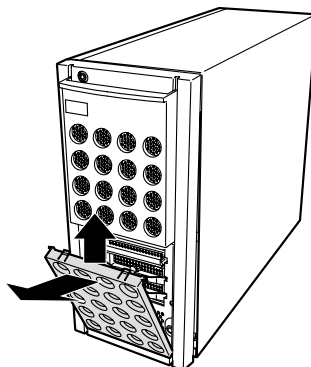
Be careful not to lose this key.  
If you lose the drive cover key, contact your maintenance engineer immediately.

E

- 2 Slide the drive cover upwards.



- 3 Remove the hard disk cover.  
After sliding the drive cover to the upward position, pull the underlying hard disk cover forward to remove.

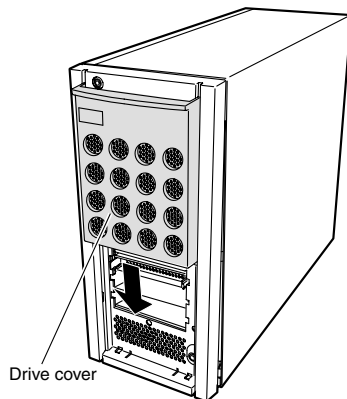


- 4 Touch the metal chassis to discharge static electricity.

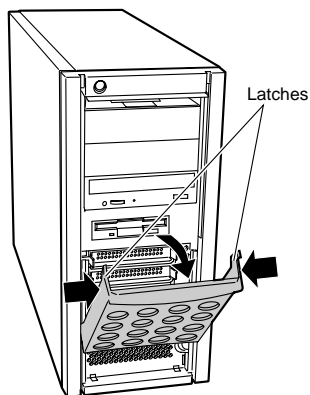
### 3 Removing the drive cover

---

- 1 Lower the drive cover.  
Slowly lower the drive cover down and return it to its original position.

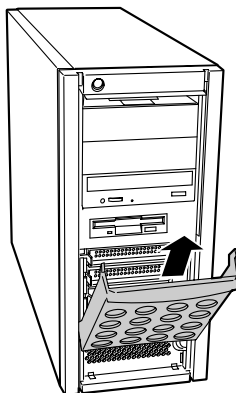


- 2 Open the drive cover.  
Pull the drive cover forward while pressing the upper latches on both sides (see diagram).



**E**

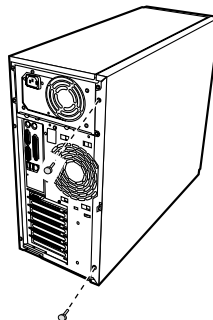
- 3 Remove the drive cover.  
Pull the drive cover in the direction as shown in the diagram to remove.



## 4 Removing the left side cover

---

- 1 Remove the 2 retaining thumbscrews (M3) located at the rear.

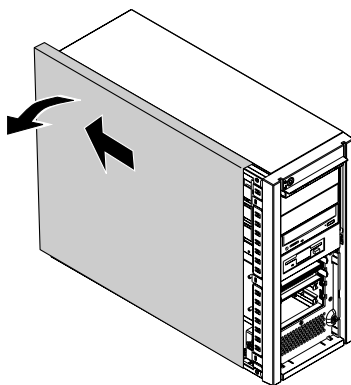


Do not lose these screws since they will be used later to reattach this cover.



## 2 Slide the left side cover.

The side cover is fastened to the chassis by tabs. Carefully slide the left side cover toward the rear as shown in the diagram to release the tabs from the chassis and remove.



## 5 Removing the hard disk units

After removing the left side cover, remove all the hard disk units from their 3.5-inch storage bays.

Note that the IDE hard disks must be reinstalled after reattaching the front cover and the SCSI hard disks must be reinstalled after the rack conversion is complete.

This section describes how to remove the hard disk units from their bays.



Directions



Before moving the server, remove all hard disk units. Striking or hitting a hard disk unit can corrupt its data.

### Notes:

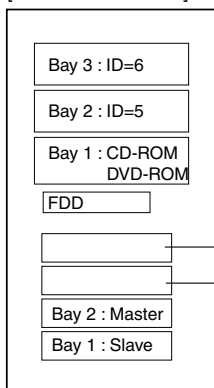
Note that when converting the server from a desktide to a rackmount, the bay orientation is different. The following diagram shows the bay numbers and SCSI IDs before and after conversion.

Make sure to write down the bay numbers for each hard disk so they can be replaced to their proper locations.

**E**

## IDE hard disks

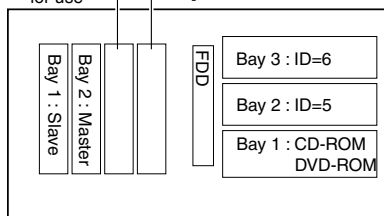
[Deskside front view]



Bay 4 : Unavailable  
for use

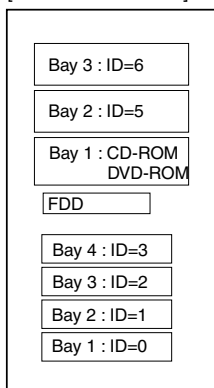
Bay 3 : Unavailable  
for use

[Rackmount front view]

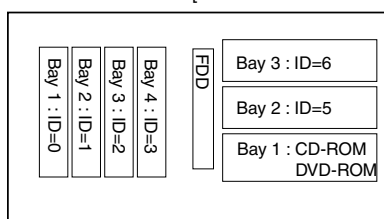


## SCSI hard disks

[Deskside front view]

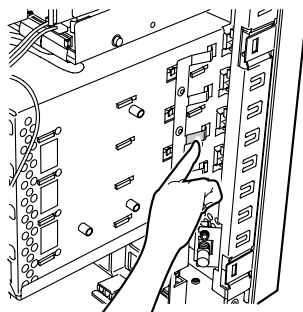


[Rackmount front view]

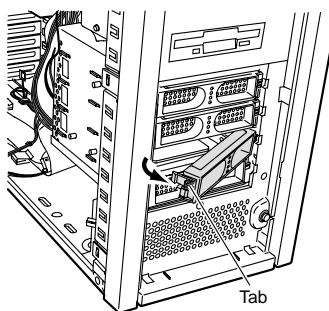


## Removing IDE hard disk units

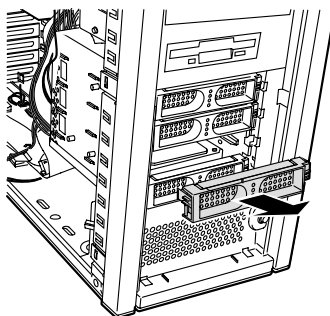
- 1 Disconnect all hard disk units.
- 2 Push the leaf spring on the left side of the bay.



- 3 While pressing the tab, pull out the left side of the bay cover.

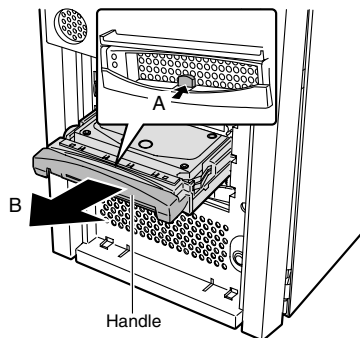


- 4 Remove the bay cover completely.



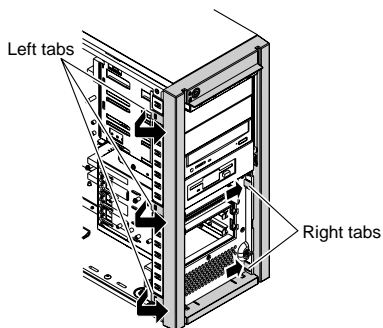
## Removing SCSI hard disk units

- 1 Remove the hard disk units.  
Pressing the release button (A) on the hard disk unit, raise the handle upward to release the lock and pull out to remove (B).

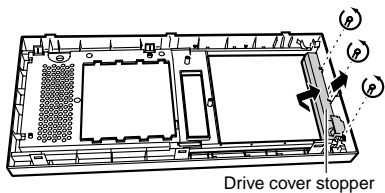


## 6 Removing the front cover

- 1 Remove the front cover.  
Release the 3 tabs on the left side of the front cover, then pull the cover off while pressing the 2 tabs on the right side.

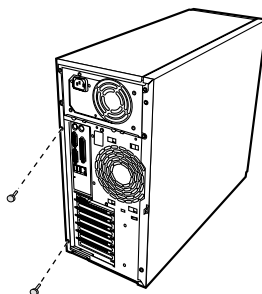


- 2 Remove the 3 retaining screws (M3) located on the inside of the front server and detach the drive cover stopper from the front cover.

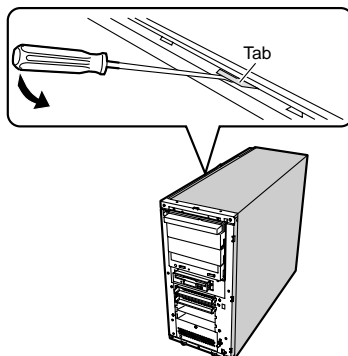


## 7 Removing the right side cover

- 1 Remove the 2 retaining thumbscrews (M3) located at the rear.



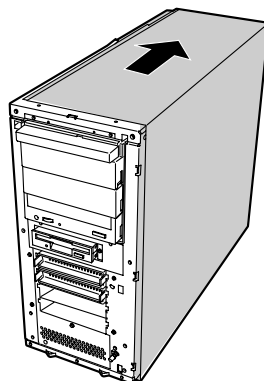
- 2 Release the upper tab.  
Insert a flathead screwdriver in the opening on the left side (this cover is L-shaped) and pry open to release the tab.



E

- 3 Slide the right side cover backwards.

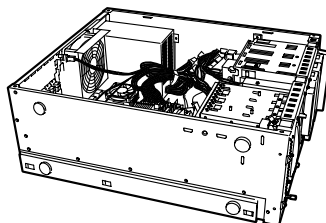
Slide the L-shaped right side cover backwards while applying downward pressure on the cover's top.



## 8 Remove the rubber feet

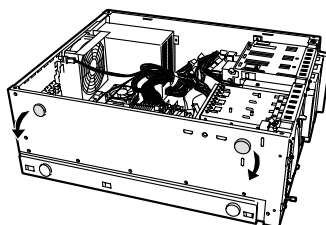
---

- 1 Lay the server on its side (see diagram).

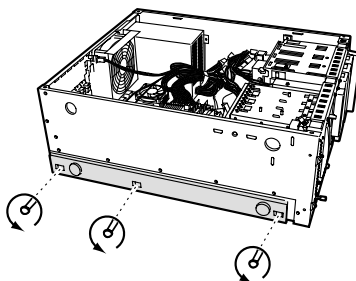


- 2 Remove the 2 upper rubber feet.

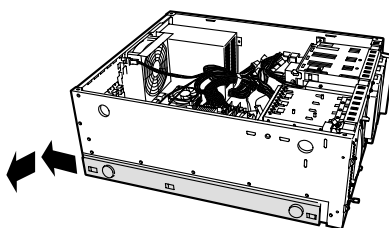
Pull off the 2 rubber feet (bumpers) by hand from the server base.



- 3 Remove the 3 retaining screws (M4) fixing the lower plate.



- 4 Slide the plate toward the rear as shown in the diagram and remove.



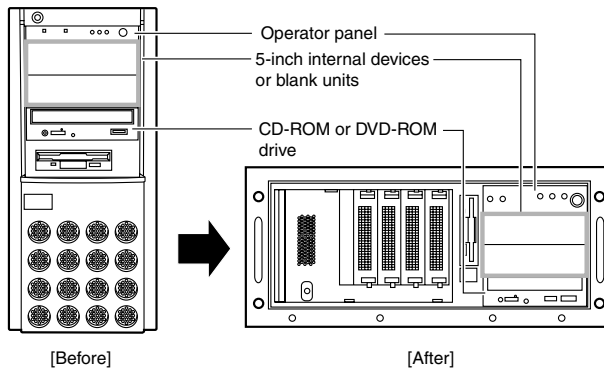
**E**

## 9 Repositioning the devices

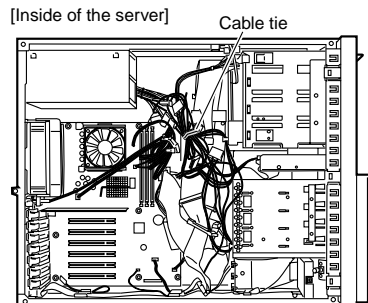
To convert the server to a rackmount, you must reorient the following 5-inch storage bay components:

- CD-ROM or DVD-ROM drive
- all 5-inch internal devices
- all blank units
- Operator panel

See the following diagram to identify their new orientation:



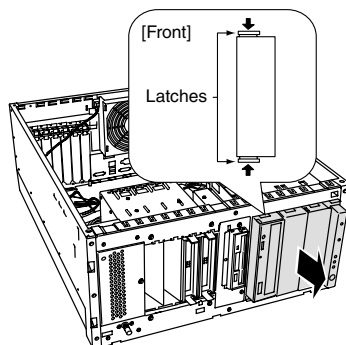
- 1 Disconnect all cable connections from the CD-ROM(DVD-ROM) drive and 5-inch internal devices.
- 2 Separate only the operator panel cables from the bundle.





- 3 Remove the operator panel, CD-ROM(DVD-ROM) drive, all 5-inch internal devices and/or blank units from their bays.

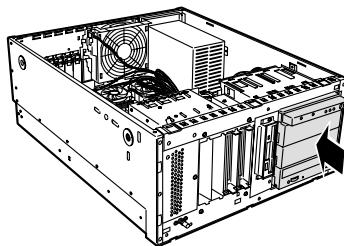
Remove the components by holding the latches pinched while pulling out the device out of its bay (see diagram).



**POINT**

Depending on the number of devices installed, there may not be any blank units.

- 4 Orient the operator panel, CD-ROM(DVD-ROM) drive, all 5-inch internal devices and/or blank units into their 5-inch bays.



**CAUTION**

When installing these components, be careful not to pinch the cables between the other components.

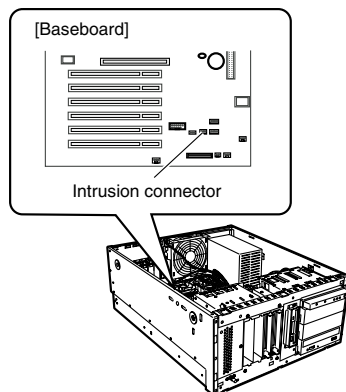


**POINT**

Depending on the number of devices installed, there may not be any blank units.

**E**

- 5 To remove the intrusion cable, disconnect its connector from the baseboard.

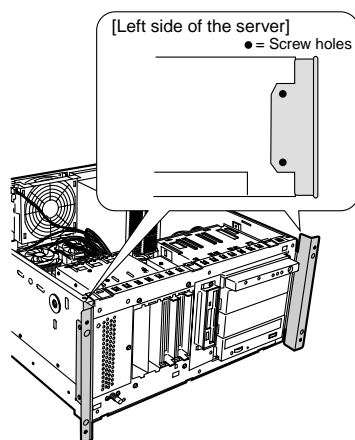


- 6 Reconnect all cables disconnected in step 1.
- 7 Re-tie the operator panel cables separated in step 2.

## 10 Attaching the front cover brackets

---

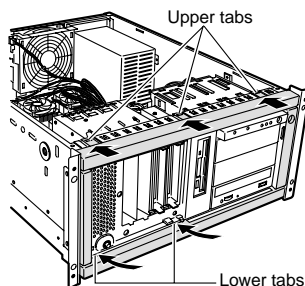
- 1 Attach the front cover brackets on the right and left side of the server.  
Fasten each bracket to the side of the server with the 2 tap tight screws (M4) provided.



## 11 Reattaching the front cover

- 1 Reattach the front cover removed in "6 Removing the front cover" (pg 14).

Insert the 2 lower tabs and respective 3 upper tabs in their slots and firmly press the front cover to secure into place.



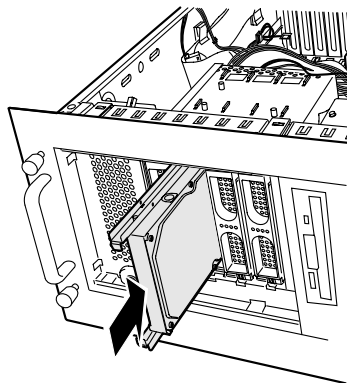
## 12 Reinstalling the IDE hard disk units



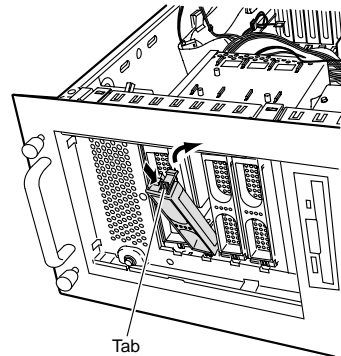
- After reinstalling the IDE hard disk units, be careful not to strike or hit the hard disk units, as this may corrupt the data.
- Be sure to reinstall the hard disk units back to their correct bays from which they were removed.

- 1 Reinstall the hard disk units to the server.

Reinsert the hard disk units back into their respective 3.5-inch storage bays as shown in the diagram below.



- 2 Reattach the bay cover.  
Press the bay cover tab inward while inserting it.



- 3 Reconnect all hard disk unit cable connections.

## 13 Reattaching the left side cover

---

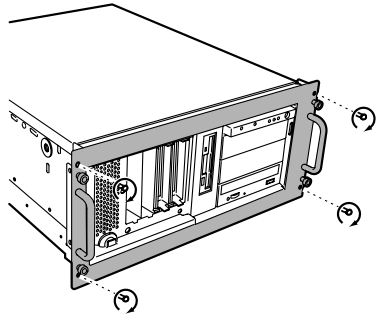
Perform the removal procedure in reverse to reattach the left side cover to the server. Refer to "4 Removing the left side cover (10 page)" for details.



Before replacing the left side cover, check to see whether any tools were left inside the server.

## 14 Attaching the rack front cover

- 1 Attach the rack front cover.  
Fasten the rack front cover to the front of the server with the 4 tap tight screws (M4) provided.



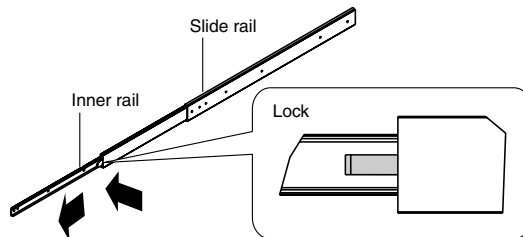
## 15 Converting to a rackmount model

Perform the following steps to implement the rack conversion kit and install the server in the rack:

For details on attaching the slide rails, refer to your rack type instructions.

### ***Attaching the inner rail***

- 1 Separate the inner rails from the slide rail.  
Holding the lock pressed (see diagram), slowly pull the inner rail outward to remove.

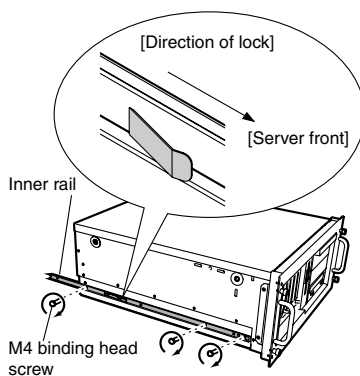


**E**

## 2 Attach the inner rails to the right and left sided of the server.

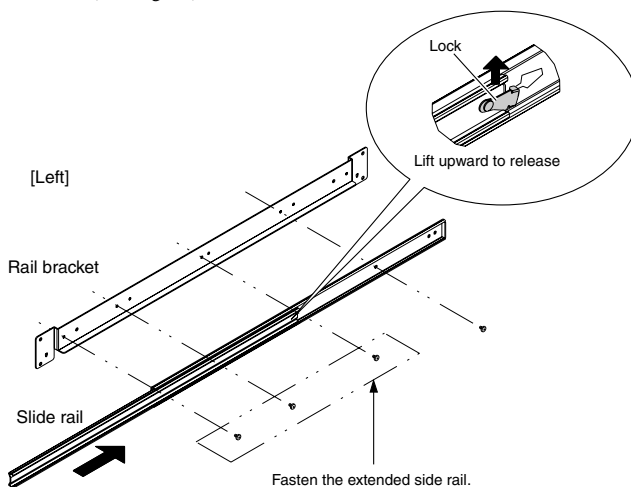
Fasten each inner rail to the side of the server using the 3 binding head screws (M4) provided.

Orient the direction of the inner rails so that the open side of the lock is facing the front of the server (see diagram).



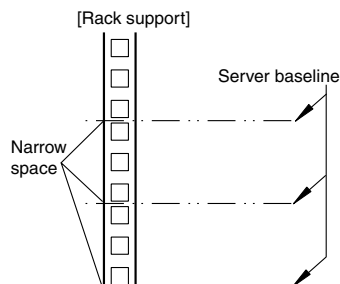
## 3 Attach the slide rail unit to the rail brackets.

Fasten each slide rail unit to its respective rail bracket with the 4 binding head screws (M4) provided. It may be necessary to slightly shift the rail and bracket when tightening the screws (see diagram).



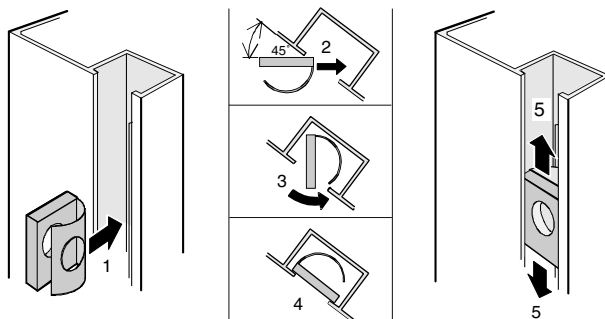
## Choosing the server's position (height) in the rack cabinet

- 1 Open the rack cabinet.  
Open the front and rear doors of the rack cabinet.
- 2 Place the server in the rack.  
Choose the height at which - to place the server in the rack by aligning the base of the server with one of the narrower spaces - in the rack support.



## Installing the rail assembly ("Standard-type" rack cabinets)

- 1 Attach the spring-nuts to the rack.  
Insert the spring-nuts into the rack grooves as shown in Fig. 1-4, below. The height of the spring-nuts can be adjusted once placed inside the rack groove by sliding each nut up or down by hand (Fig. 5).



**E**

## 2 Attach the rail assemblies and insert the rack nuts.

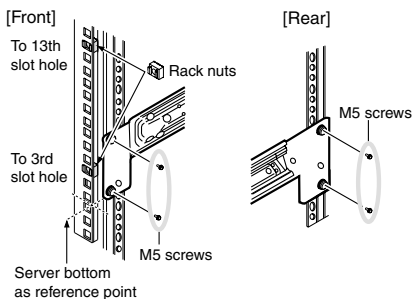
This server requires 5U of cabinet space.

### 1 Attach the rails.

Align the brackets and spring-nuts at the desired height in the cabinet and fasten both the front and rear brackets with the 4 screws (M5) provided.

### 2 Insert the rack nuts provided.

Insert the rack nuts in the rack's 3rd and 13th hole positions (counting from the server's base) as shown in the diagram. Make sure to use the rack nuts provided with the kit (M5) as they have special catches to secure their hole positions.



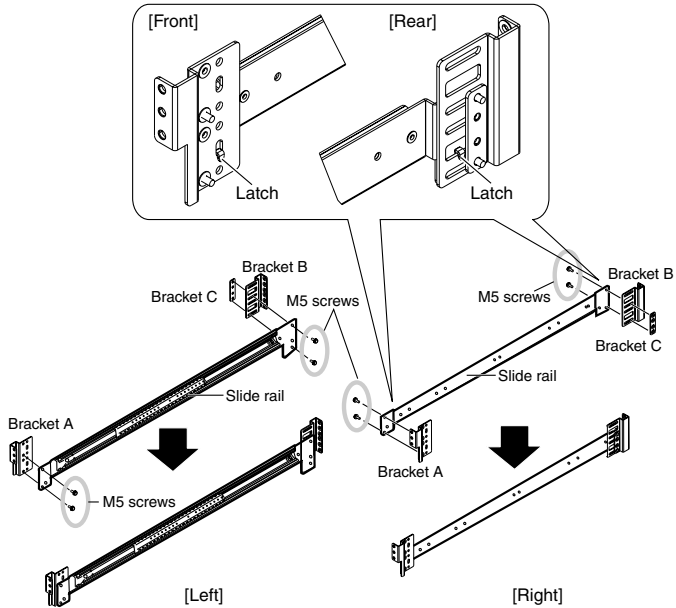
Make sure to use the rack nuts (M5) provided with the rack conversion kit and not the ones used on the rack cabinet.



## Installing the rail assembly ("Slim-type" rack cabinets)

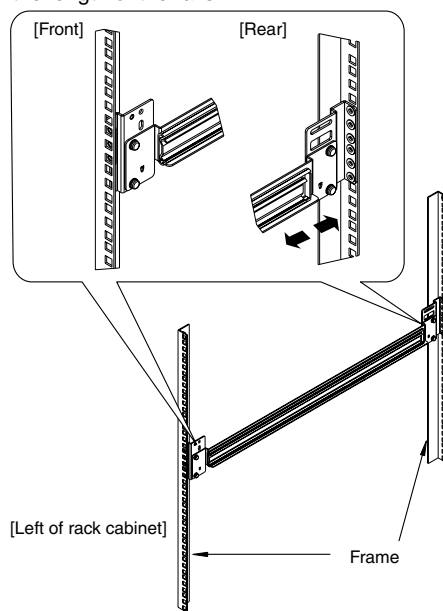
### 1 Assemble the rails.

Attach the rail brackets (A,B,C) to the rails using the screws (M5) provided. Attach brackets A and B to the inner side of the rails and fasten. Attach the C brackets to the rear of the rails and LOOSELY tighten (to allow its length to be adjusted in the next step).



E

- 2 Extend each rail to align with the rack cabinet width and tighten the rear screws (from above) to fix the length of the rails.



### 3 Attach the rail assembly to the rack cabinet.

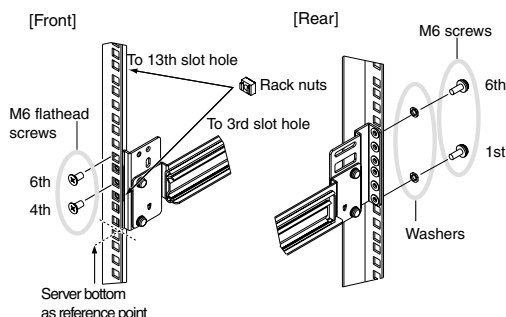
This server requires 5U of cabinet space.

#### 1 Fasten the brackets.

After deciding where to place the server (height position) in the cabinet, fasten the front brackets to the cabinet's front rack support with the flathead screws (M6) in the rack's 4th and 6th hole positions (counting up from the server's base) as shown in the diagram. Then fasten the rear brackets in a similar way except using the screws (M6) and washers provided in this kit instead of the flathead screws.

#### 2 Attach the rack nuts provided.

Insert the rack nuts in the 3rd and 13th hole positions (counting from the bottom) as shown in the diagram. When inserting the nuts, make sure to use the ones provided with the kit (M5) as they have special catches to secure their hole positions.

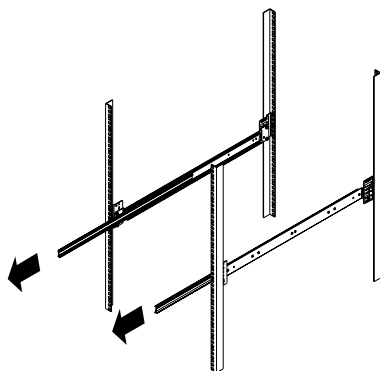


Make sure to use the rack nuts (M5) provided with the rack conversion kit and not the ones used on the rack cabinet.

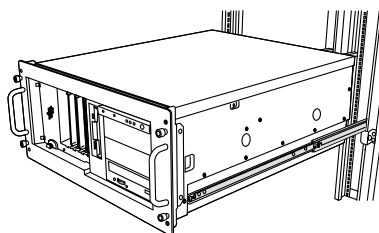
E

## ***Installing the server in the rack***

- 1 Fully extend the slide rails.

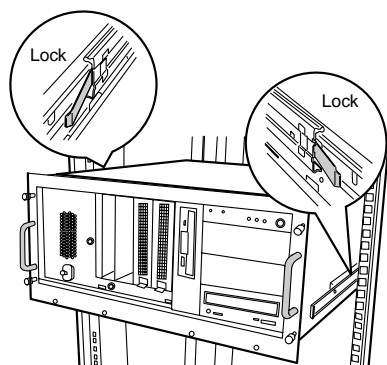


- 2 Properly seat the server into the rail grooves of the rail assembly.



- 3 Install the server in the rack cabinet.

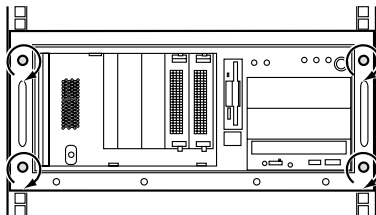
Holding the lock on the slide rail pressed, push the server into the rack cabinet.





Be careful not to pinch your fingers or catch any clothing when sliding the server into the cabinet.

- 4 Fasten the server to the rack with the 4 thumbscrews (M5).



## 16 Reinstalling the SCSI hard disk units



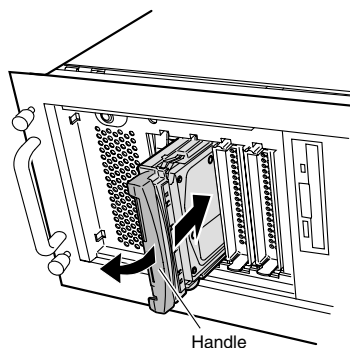
Be sure to reinstall the hard disk units back to their correct bays from which they were removed.

**E**

### *Reinstalling procedure*

- 1 Reinstall the hard disk units to the server.

With its handle open, insert each hard disk unit back into their respective 3.5 - inch storage bays.  
Close the handle to lock the hard disk units in their storage bays.



## 17 Before turning on the server

---

Be sure to confirm the following items before turning on the server:

### ***Hard disk units***

Item	Check
Are all hard disks installed?	
Are they properly installed?	

### ***Cables***

Item	Check
Are all cable connections correct?	
Is each cable properly seated?	
Are all cables connected?	
Did you disconnect the cables as instructed?	
Did you reconnect the server's power cable from "1 Pre-work preparations"?	

### ***Expansion cards***

Item	Check
Are all expansion cards properly seated in their PCI slots? (Some expansion cards may have become loose while performing the conversion.)	

### ***Peripherals***

Item	Check
Did you reconnect the peripherals disconnected in "1 Pre-work preparations"?	

## 18 Updating the Chassis ID

After installing the server in the rack, update the chassis ID as follows:



Before rebooting the system from the ServerStart CD or "Hardware Configuration Tool Floppy", first check that the ServerView "OS Boot Monitoring" function has been disabled (default setting is "Disabled").

If the system is started with the "OS Boot Monitoring" function enabled, the server is liable to automatically shutdown and/or reboot and/or perform other unexpected operations.

If the "OS Boot Monitoring" function is needed, it should be reset to enabled before resuming normal server operation.

See the "Server View User's Guide" on ServerView CD-ROM for more ServerView information.

- 1 Check that no media has been left in the floppy disk drive, CD-ROM, etc.
- 2 Turn on the display and any attached peripherals.
- 3 Insert the "Hardware Configuration Tool Boot Floppy" provided with the server in the floppy disk drive and turn on the server.

The menu will appear.



A "Hardware Configuration Tool Boot Floppy" may be created using the ServerStart CD.

For details on how to create, refer to "PRIMERGY C150 Supplement".

- 4 Select "Server Management Tool" from menu and press [Enter].  
After the DOS prompt appears, remove the "Hardware Configuration Tool Boot Floppy".
- 5 Insert the "Server Management Tools" disk provided with the server into the floppy disk drive and type the following commands:

```
A:\>WRTID.BAT C150R.ini [Enter]
```

The following message appears when properly executed.

```
Normal End
```

- 6 Turn off the server.

E



#### POINT

When converting the server from a rackmount model back to a deskmount model, update the chassis ID as follows:

- 1 Check that no media has been left in the floppy disk drive, CD-ROM, etc.
- 2 Turn on the display and any attached peripherals.
- 3 Insert the "Hardware Configuration Tool Boot Floppy" provided with the server in the floppy disk drive and turn on the server.

The menu will appear.

- 4 Select "Server Management Tool" from menu and press [Enter].

After the DOS prompt appears, remove the "Hardware Configuration Tool Boot Floppy".

- 5 Insert the "Server Management Tools" disk provided with the server into the floppy disk drive and type the following commands:

```
A:\>WRTID.BAT C150F.ini [Enter]
```

The following message appears when properly executed.

```
Normal END
```

- 6 Turn off the server.



# Appendix

## A.1 Product information sheet

Record the following items:  
Be careful not to lose this sheet as you must provide this information when you contact your maintenance engineer.

Server	Name	PRIMERGY C150
	Product ID	<input type="checkbox"/> GP_____ <input type="checkbox"/> PG _____
	Serial number	
	Product Key*	— — —
Rack Model		
Rack Conversion Kit Type		PG-R1CK8

\*)Record the product key if there is a product key label affixed on either side of the server.





---

PRIMERGY C150  
ラックマウント変換機構 ( PG-R1CK8 )  
取扱説明書

Rack Conversion Kit ( PG-R1CK8 )  
USER GUIDE

P3FY-2320-01-00

発行日 2002 年 5 月  
発行責任 富士通株式会社

Issued on May, 2002  
Issued by FUJITSU LIMITED

---

本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。  
本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利  
の侵害については、当社はその責を負いません。  
無断転載を禁じます。

- The contents of this manual may be revised without prior notice.
- Fujitsu assumes no liability for damages to third party copyrights or other rights arising from the use of any information in this manual.
- No part of this manual may be reproduced in any form without the prior written permission of Fujitsu.